

Overview

津和野高校では「総合的な探究の時間」をT-PLANと命名し、1～3年生までの一貫したプログラムとして運営しています。本格的に始動したのは2016年。まだ多くの学校で探究活動が一般化していない時期から、津和野高校では、魅力的な地域をフィールドにした学びを展開しています。

『『やってみよう』を『やってみる』、自分らしく、だれかのために』を T-PLANで実践する

- ・ T-PLANの取り組みは、現在の津和野高校のグランドポリシー（育てたい生徒像）である「**未来社会の創造に、仲間と協働して、主体的に挑戦しようとする人**」にも直結します。
- ・ 『『やってみよう』を『やってみる』』ことは、主体的に「自分らしく」挑戦することです。そのためには、まずは自分自身のことを知り、内から生まれた探究の種を見つけ、形にしていけることが大事です。それがいずれは「だれかののために」なり、他者の共感を生み、仲間と協働しながら未来を創ることにつながる、と津和野高校は考えます。

ツコウの「探究」 3 steps

テーマ発見期



さがす

「気になる」
「やってみよう」
ときめく相手を探す

トライ＆エラー期



やってみる

何かを「考える」
「やってみる」
※教科・部活・生徒会など

ふかん

俯瞰・発展期



つなぐ

自分自身の学びや
変化を振り返り
次の挑戦へ繋ぐ

➡ 一步一步、「ウロウロ」を大切にしながら

- ・ ツコウの探究は、三年間の「さがす」「やってみる」「つなぐ」の3段階で構成しています。自分が「感動できる」「ワクワクできる」「なんとかしたい」と感じられるものへの出会いはあくまで偶然です。
- ・ T-PLANは、ゆったり構えて、見つかるか見つからないかわからないけれど、まずは「ウロウロ」してみる時間です。
- ・ #内発的動機 #ブランドハップンスタンス #中動態 #OODAループ #意識化 #若者参画のはしご



T-PLANの魅力：What Makes T-PLAN Special?

1) ツコウT-PLANのフィールドは津和野町のまち全体

あなたの活動を見守り、応援してくれる大人は、先生やコーディネーターだけではなく。T-PLANの魅力の一つは、**一年生の一学期**に体験する「ブリコラージュゼミ」。多様な講座から自分が興味のあるものを一つ選ぶ体験講座です。津和野町というまちをベースに活動してきたコーディネーターが、ツコウ生に地域の魅力を徹底的に「プレゼント（提供・紹介）」する場です。これまで地域の講師の協力によって提供してきた講座は実に**100以上**。地域でのつながりを作ったり、**自分の「やりたいこと」**のヒントにつながる時間です。その他、地域の人と一対一で対話するトークフォークダンスなど、一度きりで終わらない繋がりづくりの場面が多くあります。

ブリコラージュゼミ ラインナップ (ある1日の授業の選択肢です)



1.森林・林業・木材産業
学習講座
#一次産業 #自然



2.自分を見える化してみよう
#表現 #アート



3.石州和紙を染めて
うちわをつくろう
#伝統工芸 #アート



4.「たまご」を使って
料理をしてみよう
#料理 #教育



5.スポーツクライミングにチャレンジ！
#スポーツ #運動



6.モルックを楽しく
体験してみよう！
#スポーツ #異文化体験



7.知ったら沼！
おもしろコーヒー講座
#食 #パリスタ



8.津和野の町の秘密を
探しに城跡を登ろう！
#自然 #歴史



9.和菓子作り体験
源氏巻きを作ろう！
#食 #津和野町



10.陶芸体験
マグカップを作ろう！
#陶芸 #アート



11.SDGsに見る
世界の中の日本
#国際理解 #環境



12.HTMLでアプリを
つくろう
#デジタル #アプリ

トークフォークダンス



振り返りをGoogleサイトで



2) 成長や気づきを学びに変える「リフレクション」

ツコウの探究T-PLANでは、さまざまな切り口ややり方で自分に成長や気づきを学びに変える「リフレクション」に力を入れています。その最終的な目的はPDCAをうまく回して取り組んでいることを「上手」にすることではなく、自分自身への理解を少しでも深めることです。毎回の探究活動の直後に文章で言葉にする**定期的なふりかえりフォーム**に加えて、**マインドマップ**など描きながら思考や経験を整理する手法、教員やコーディネーターが総動員で対応する**一対一の面談でのふりかえり**などを実施しています。最終的にはこれまでやってきた、探究や部活、普段の生活での経験を、**無理なく進路選択や準備に活かせる仕組み**が整っています。**「挑戦」**し、学びの貴重な材料である**「失敗」**を楽しみ、自分の学びを他の人に**「発信」**することを大事にしています。

3) はじめの一步から生まれるそれぞれのストーリー

生徒の「はじめの一步」を、多様な大人が応援してきたツコウでは、これまでも、たくさんの「自分だけのストーリー」が生まれてきました。近年のストーリーの一部を紹介します。



〈津和野町畑迫地区でのチーム活動〉

町内畑迫地区に通い、高齢世帯を中心とした住民の暮らしを支える「小さな拠点」からの支援のもと、最終的には地域の人を招待し、交流会を企画・実施した。



〈ガンダム作成講座〉

長年親しんできたガンダムのプラモデル作成をより多くの人に楽しんでもらおうと、参加者が一緒に作成するイベントを実施。当日は小学生や高校教員を含む多様な参加者が集まった。



〈地域と中学生をつなげるサイクリングツアー〉

自転車での観光の魅力を広める「津和野体験Yu-na」と協働してサイクリングツアーを複数回実施。中学生向けツアーを通して実際に高校入学を決心した参加者や、その経験を通して、企画に参画する一年生も現れた。



〈生徒の政治への関心を高めるために〉

政治への自身の関心を起点に、高校生が政治やまちづくりへの関心を高められる機会を模索した。町議員や行政職員の支援を受け、楽しみながら政治や地域の意思決定の重要性を再確認できるディベートを複数回実施した。



〈つわの灯籠流しの復活〉

幼少期からの体験で、コロナ禍で休止していた地域行事「灯籠流し」を復活したいという思いから、さまざまな地域の人の支えを得ながら昨年度5年ぶりに実施した。現在は持続可能性のあるイベントにするために奔走している。



〈生理の貧困を解決するために〉

今の日本における生理の現状を知り、生理の貧困について解決に取り組む。ツコウに「生理の貧困が存在するか？」について、アンケート調査やトイレにナプキンを設置しての実証実験を実施したり、生理に関する豆知識のチラシ掲示を行った。



〈ちいラボ放課後radio〉

“プロジェクトに青春を捧げる高校生”をゲストに招き、活動の背景や活動を通じた学び、これからの活動などをトークする40分ほどのラジオ番組。ラジオ録画/中継の場として、町内で展開するcafe&hostel TMCに出会い、スタジオとして活用している。



〈石見神楽の普及に向けて〉

長年親しんできた石見神楽の魅力をより多くの高校生に体感してもらおうと、生徒自身が所属している社中の方からの協力を得て、実際の道具を使用しながら、文化祭での発表や、1年生向けの体験型授業を実施した。

What's Next?

① ブリコラージュゼミが次の段階に

3年生がこれまで出会ってきた地域の魅力や自分の「ワクワクすること」をもとに講座を提供する時間、さらには1年生の生徒同士で提供し合う形がスタートします。

② リアルな体験もデジタルも目的に合わせて

これまでの学びの全体像を紙に見える化する「マインドマップ」などの手法に加え、Googleサイトで自分なりの3年間を表現する「自分史づくり」などが始まりました。

③ 一人一人の興味や進め方に合わせて

今年度は、数学やプログラミングなど、教科に純粋に関わりのあること、野球に関するイベントやデータを活用したパフォーマンスアップなど部活に関連するものなどもスタートしています。